

行動科学・実装科学セミナー 第10回 行動科学セミナー

人はなぜ自ら生命を絶つのか

講師：国立がん研究センター がん対策研究所
支持・サバイバーシップTR研究部 室長
藤森 麻衣子 先生

日時 2023年 3月 24日（金） 16:00～17:00

会議ツール Zoom 参加費 無料

参加申込 QRコードよりお申込みください

参加申込締切 2023年 3月 23日（木） 12:00



講師プロフィール：早稲田大学人間科学研究科博士（人間科学）取得後、ポスドクとして国立がん研究センター、University of Chicago、Memorial Sloan Kettering Cancer Center、理化学研究所、国立精神・神経医療研究センター自殺総合対策推進センター室長を経て、現職。2020年より早稲田大学人間科学学術院客員准教授。2022年より名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野客員教授。がんを取り巻く人々の心理を生理・行動・認知的側面から研究。

セミナー要旨：生物では自ら生命を絶つ行動をとることが確認されているが、種の保存に関わる利他の結果として死に至ると考えられており、死を目的とした行動としてコンセンサスが得られているのはヒトのみである。人が自ら死を選択する背景には複数の要因が影響を及ぼすこと、その影響は個別性が大きいことがこれまでの研究で示されている。自殺対策強化月間である3月に開催される本セミナーでは、自殺の特徴、評価や援助の方法を取り組み事例を交えて紹介する。

主催 国立がん研究センター がん対策研究所 支持・サバイバーシップ研究グループ
早稲田大学人間科学学術院

共催 J-SUPPORT（日本がん支持療法研究グループ）
N-EQUITY（健康格差是正のための実装科学ナショナルセンターコンソーシアム）
RADISH（保健医療福祉における普及と実装科学研究会：D&I科学研究会）

問合せ先 J-SUPPORT運営事務局

j-supportoffice@ml.res.ncc.go.jp



J-SUPPORT
Japan Supportive, Palliative and
Psychosocial Oncology Group